

S P R e S S O

THE SENDAI BANK
Disclosure

仙台銀行 2009年ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレッソ]





よろしくお願ひします
ずっと、ずっと、

積極的な訪問活動により中小企業支援をさらに充実
法人融資専門チーム

宮城県では、世界的な金融危機により地域経済が大きな影響を受ける一方で、自動車関連産業の進出により新たなビジネス機会の創出が期待されています。こうした中、当行は中小企業の皆さまへの支援をさらに充実させるため、平成20年度から法人融資専門チームを拡充し、積極的に訪問活動を行い、経営課題の解決に向けてご融資等の相談・提案活動に取り組んでおります。

**法人融資専門チームと営業店が
連携して中小企業支援をさらに強化**

**01 » 県内4カ店に分室を配置して
県全域をカバー**

宮城県全域の中小企業の皆さまを支援するため、本店(仙台市)のほか、古川支店(大崎市)、岩沼支店(岩沼市)、佐沼支店(登米市)、石巻支店(石巻市)の4カ店に法人融資専門チーム分室を配置し、地域に密着した相談・提案活動を展開しております。

**02 » 「地域情報」と
「専門情報」を融合・連携**

県内70カ店の営業担当者と法人融資専門チームが連携して活動することにより、営業店のもつ「地域情報」と法人融資専門チームの「専門情報」を融合し、中小企業の皆さまの状況に応じて、的確かつスピーディな相談・提案活動に取り組んでおります。

**03 » 農業事業者の
経営相談にも積極対応**

平成20年度よりチームを増員し、平成21年6月現在42名が相談・提案活動を担当しております。

農畜産業の主力地域である佐沼支店分室(登米市)には、農業経営アドバイザーが常駐し、農業事業者の経営相談にも積極的に対応しております。

S-PRESSO

- 「S」………… SENDAI BANK
- 「press」…… 内容の濃い情報発信
- 「O(ゼロ)」…… 原点を忘れない

仙台銀行は、設立の原点である

「宮城県の皆さんに役立つ」ことが企業使命です。

仙台銀行の業績やトピックスを

2009年 ディスクロージャー誌 別冊「Spresso(エス・プレッソ)」に
分かりやすく“濃縮”しましたので、どうぞご覧ください。



法人融資専門チーム(本店・古川分室)

contents

ずっと、ずっと、よろしくお願ひします

頭取メッセージ 02

地域の皆さまとともに 06

◎仙台銀行の地域貢献活動 06

◎個人の皆さま 07

◎中小企業の皆さま 10

◎仙台銀行を希望する皆さま(人事・採用関係) 11

◎トピックス 12

◎仙台銀行のCSR 13

◎仙台銀行のあゆみ 14

◎店舗ネットワーク 15

業績のハイライト(個別) 16



President Message

頭取メッセージ

仙台銀行 取締役頭取

三井精一

「宮城県の皆さんに役立つ」ことが 当行の企業使命

金融危機により大きな影響を受けた地域経済

平成20年度の当地・宮城県の経済は、平成20年6月に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」により栗原市を中心には甚大な被害を受けたほか、秋以降は、世界的な金融危機の影響が波及して生産が急速に低下し、雇用や個人消費も厳しさを増すなど大幅に悪化しました。

当行取引先の中小企業の皆さんにおいても、大手製造業の輸出減少や減産の影響により急激な受注減少に直面するなど、かつてないほど厳しい局面に立たされました。政府によるさまざまな経済対策が実施され、当行においても緊急保証制度や休日相談会等を通じて中小企業の皆さんへ円滑に融資ができるよう全力を挙げて取り組んでまいりました。

当行の設立の原点は「宮城県の皆さんに役立つ」こと

実は、当行の前身である「振興無尽株式会社」が誕生した昭和26年当時も、戦後の経済混乱の余波により宮城県の中小企業の皆さんは深刻な資金難にありました。こうした事態を打開するため、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏が中小企業のために新たな金融機関設立が必要であると提唱し、宮城県や市町村、商工会議所、地元経済界等の幅広い出資により誕生したのが当行であります。

これまで宮城県経済は、戦後の経済復興・高度成長期を経て、オイルショック、円高不況、バブル経済崩壊、金融再編などの幾多の試練を乗り越えてきましたが、当行は設立の原点で

ある「宮城県の皆さんに役立つ」ことに徹して、常に地域の中 小企業の皆さんと一緒に歩んでまいりました。

地域経済の回復に向けて積極的に中小企業支援に取り組む

今回の金融危機による不況は、かつての試練を上回るスピードで中小企業の皆さんに負の影響を与えており、今なお、回復に向けた道筋が不透明な状況にあります。しかし一方で、宮城県ではセントラル自動車(株)などの工場進出が、一部に延期などの動きがあるものの、今後いよいよ本格稼動する見込みであり、地元企業との取引開始や従業員の移転など明るい材料も十分にあります。

私は当行取引先の皆さんで組織する千成会において、「かならず夜明けは来ます。今は次の飛躍に向けて力をしっかりと蓄える時期です。」と話しております。工場進出などの新たなチャンスを取引先の皆さん方が活用し、地域経済が一刻も早く回復できるよう、当行は設立の原点である「宮城県の皆さんに役立つこと」に徹して、今後も中小企業の皆さんへ積極的に支援してまいります。

平成21年3月期決算について

法人営業強化により中小企業向け貸出残高が増加

平成21年3月期決算は、金融危機による世界的な金融市場の混乱や地域経済の急速な悪化、さらには他県金融機関との競合が厳しさを増すなど、非常に厳しい経営環境となりました。

こうした中、当行では中期経営計画「新・好品質計画」に基づき、法人営業体制の強化や中小企業の皆さんへの支援に

積極的に取り組んだことから、中小企業向け貸出残高が前年同月比26億円増加の2,013億円となるなどの成果をあげることができました。

また、金融危機にともなう世界的な金融市場の混乱の影響を受けて、保有有価証券の一部について23億円の減損処理を実施したものの、貸倒償却引当費用が減少したことなどから、経常利益は前期比15億円増加の3億円、当期純利益は前期比20億円増加の4千万円となりました。

配当について

平成21年3月期の中間配当につきましては、世界的な金融危機により、当行保有の有価証券の価格が大幅に下落したことなどから見送させていただきましたが、期末配当につきましては定時株主総会の決議をいただき、1株あたり25円、総額189百万円の配当を実施させていただきました。

なお、配当の決定機関は、期末配当につきましては株主総会、中間配当につきましては取締役会であります。急激に変化する金融環境と、時価会計が財務内容に与える影響の不確実性等を勘案し、平成21年度からの中間配当につきましては、当面、期末配当に一本化することとさせていただきます。株主の皆さまには何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

次期の配当につきましては、1株あたり50円の期末配当を見込んでおります。

仙台銀行
取締役頭取

三井 精一



中期経営計画「新・好品質計画」への取り組み

現場主義に徹して中小企業の皆さまへ繰り返し訪問する

先ほども話しましたとおり、今、当行では中小企業の皆さまへの支援に特に力を入れています。

中期経営計画においても、融資残高等の目標を定めて、日々営業活動を行っていますが、私は日頃から役職員に対して、業績向上のための「魔法の杖」は決してないことを繰り返して話をしております。

最も大事なことは、中小企業の皆さまへ何度も訪問し、直接、

President Message

頭取メッセージ



経営者の方のお話を聞くことです。このことを地道に繰り返すことにより、役職員が自分の体で生きた情報を現場からつかみ、中小企業の皆さまの信頼を得るに足りるだけの提案や支援ができるものと私は考えております。

私の考え方は決して目新しい考え方ではありませんが、これを継続するのは相当の努力が必要です。簡単ではありません。それだけに「仙台銀行は本当によく当社の話を聞いてくれる」と、多くの中小企業の皆さまに評価いただけるよう全役職員が現場訪問を徹底してまいります。

法人融資専門チームの増員・拠点拡充により、
宮城県全域をきめ細やかにカバー

こうした現場主義の考え方のもと、当行では中小企業の皆さまへ直接訪問し、融資のご提案や事業相談を専門に担当する「法人融資専門チーム」を大幅に強化してまいりました。

平成21年4月には、チームメンバーを26名から16名増員し42名体制としました。また、本部のほか4支店(古川支店・岩沼支店・佐沼支店・石巻支店)に分室を設置し、宮城県内全域をきめ細やかにカバーする体制としました。宮城県の農畜産業の主力地域にある佐沼支店分室(登米市)には、日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザーを常駐させ、農業分野の融資にも積極的に取り組んでいます。

法人融資専門チームは各地域の営業店と連携して、今まで以上に中小企業の皆さまへの訪問や面談の機会を増やし、融資のご相談やご提案を通じて、さまざまな事業ニーズにスピーディに対応できるよう活動しております。長年お取引をいただいているお客さまはもちろんのこと、これまで当行とお取引のない皆さま方も、是非、一度ご面談の機会をいただければと存じます。

「新・好品質計画」の構成図

[めざす姿]

[計画目標]

より多くのお客さまに
支持・信頼をいただける銀行

1. 営業力の強化

中小企業を対象とした地域密着型金融に経営資源を集中的に再配置するなど、営業体制を再構築することでお客さまのニーズにスピーディに対応し、競争力と収益力を向上させてまいります。

- ◎法人営業体制の強化
- ◎営業店事務の合理化
- ◎住宅ローン・個人ローンのトラバン営業の強化
- ◎預かり資産の強化

2. 企業風土の改革

人事制度等の見直しにより職員のさらなる能力アップに取り組み、より活力のある企業風土づくりを進めます。

- ◎人事制度・人材育成への取り組み

3. 内部管理態勢の強化

業務範囲の広範化や取扱商品の複雑化によるリスクの多様化を踏まえ、内部管理態勢の高度化に取り組み、業務運営の健全性をさらに高めます。

- ◎内部管理態勢の高度化

不祥事件を深く反省し、改めて再発防止策を徹底

既に平成21年3月に公表しましたとおり、当行雄勝支店(石巻市)におきまして、元職員がお客様の預金を一時的に着服し流用するという不祥事件が発生いたしました。

当行は、過去に発生した不祥事件等を教訓とし、また、平成16年12月に東北財務局より不祥事件発生にともなう業務改善命令を受けたことも踏まえ、業務改善計画及び中期経営計画に基づき、不祥事件の再発防止に向けて、法令等遵守態勢や内部管理態勢の強化に力を注いでまいりました。

しかしながら、このような事件が起きたことは、当行の取り組みに不十分な点があったものと深く反省し、改めて皆さま方にご迷惑とご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

当行では、これまでの再発防止策を検証し、改めて行内検査や研修、人事管理等の体制を見直し、信頼回復に向けて全力で取り組んでおります。

人材育成により、活力ある「企業風土改革」を醸成

銀行業は、役職員一人ひとりが生み出す無形の対応力が収益の源であり、取扱業務が多様化するなか、人材育成の重要性がさらに増しています。

こうした考えのもと、当行では、行員の意欲向上と能力発揮を目的に、平成20年10月に「社内FA(Free Agent フリーエージェント)制度」を導入しました。この制度は、業績達成や勤続年数など一定の資格要件を有する行員に対して、職務及び勤務地の希望を申請する機会を与え、人事異動に職員の希望を今まで以上により強く反映させていくものです。銀行業では、本制度の導入事例はまだ少ないようですが、職員が自分の職業人生生活をより積極的に切り拓いていくことを支援できる制度と評価しています。

また、人々の働き方が多様化する中、キャリア採用を継続的に実施するとともに、非正規社員である「パートナー社員」の積極的な能力開発・活用に取り組んでいます。

今後も人事制度を充実させ、より活力ある企業風土の醸成に取り組んでまいります。

これからの仙台銀行

お客様からの「声」を今まで以上に大切にして、 金融サービスを充実させたい

金融危機の影響により、取引先の中小企業の皆さんも銀行業界も非常に厳しい局面にあります。しかし、こうした環境下であるからこそ、当行は「より多くのお客さまに支持・信頼をいただける銀行」を目指し、お客様からの「声」を今まで以上に大切にして、経営改善に取り組む方針です。

平成15年から実施している「お客様満足度アンケート」では、お客様から当行へのご不満やご要望などさまざまな「声」をいただいているが、私は日頃より、役職員に対して「ご不満やご要望を寄せてくるお客様が一番大切である」と話をしております。

お客様の「声」は、本部と営業店で共有し、直ちに改善できるものは速やかに対応するとともに、対応に時間を要するものについても真剣に検討し、少しでもお客様の「声」にお応えできるよう努力しております。今後も、是非、忌憚のない意見をお寄せください。

当行は宮城県の中小企業の皆さんとともに歩む地域金融機関として、皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。今後も一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



(写真:古川支店)

仙台銀行の地域貢献活動

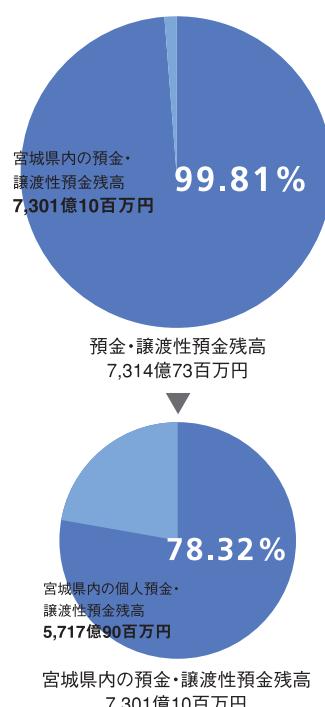
仙台銀行の地域貢献とは

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の皆さまに役立つ」ことが、当行の企業使命であり、地域貢献であると考えております。

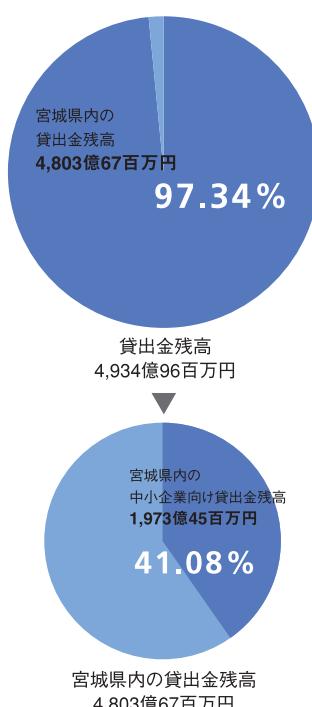
当行は、宮城県全域から広く預金をお預かりするとともに、地域経済発展や県民生活向上のため、県内の中小企業や個人の方々に、事業資金貸出や住宅ローン等により円滑に資金を供給しております。また、経営相談やコンサルティング業務、セミナー等を通じて、中小企業の皆さまの活動を多面的に支援しております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解とご満足をいただけるよう努めてまいります。

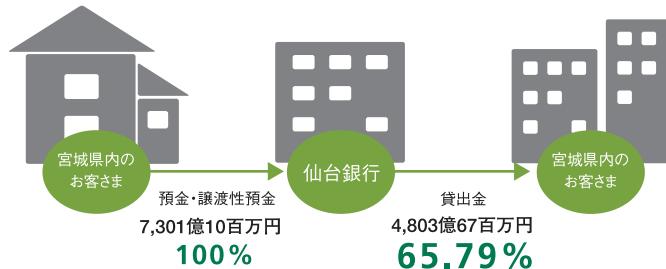
■預金・譲渡性預金残高の内訳
(平成21年3月末現在)



■貸出金残高の内訳
(平成21年3月末現在)



■当行における宮城県内預金・譲渡性預金と貸出金の状況(平成21年3月末現在)



当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,314億73百万円のうち、宮城県内のお客さまより7,301億10百万円をお預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.81%となっております。

そのうち78.32%を占める5,717億90百万円を、宮城県内の個人のお客さまからお預かりしております。

当行の貸出金の状況

当行の貸出金残高4,934億96百万円のうち、宮城県内のお客さまへの貸出金残高は4,803億67百万円となっており、当行の貸出金残高の97.34%となっております。

そのうち41.08%を占める1,973億45百万円を宮城県内の中小企業の方々にご融資しております。

県内への資金供給

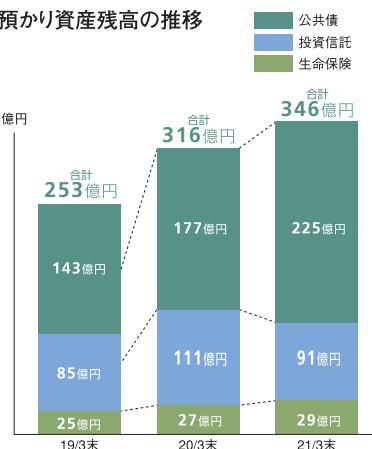
当行は、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金7,301億10百万円の65.79%を宮城県内のお客さまへご融資し、地域への円滑な資金供給を行っております。

個人の皆さま

預かり資産残高

当行の公共債及び投資信託、生命保険を対象とした預かり資産残高は346億63百万円となっております。

■預かり資産残高の推移



(注1) 生命保険:個人年金十一時払終身

(注2) 生命保険残高は成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

投資信託

お客様の多様な資産運用ニーズにお応えするとともに、ライフプランに合った資産形成のお役に立てるように、さまざまな投資信託商品を取り揃えております。

平成21年3月には、期間限定で投資信託1商品を取り扱いました。(取扱期間:平成21年3月2日~26日)



一時払終身保険

お客様のさまざまなライフプランにお応えするため、平成21年4月から、一時払終身保険に2商品を新たに追加しました。

また、より多くのお客様がご利用いただけるよう、平成21年4月から、一時払終身保険の取扱店舗を、1カ店(本店営業部)から宮城県内の全営業店(70カ店)に拡大しました。

特別金利定期預金

平成21年6月1日から7月31日の期間限定で、特別金利定期預金(預入期間3年、金利年0.60%)を販売しております。

これからも、お客様のニーズにお応えできる商品を提供してまいります。

株式会社 仙台銀行
登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号
加入協会:日本証券業協会

金融商品に関する勧誘方針

当行は金融商品の販売等にあたり、以下の方針に沿って適切な勧誘を行います。

- ① わたしたちは、金融商品の内容を十分に熟知したうえで、その内容を正しくお客様にご説明いたします。また、断定的な判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
- ② わたしたちは、お客様ご自身のご判断によりお取引いただけるよう、リスク内容などの重要な事項について、書面での交付その他の適切な方法によりご理解をいただくよう努めます。
- ③ わたしたちは、お客様のご迷惑となる時間帯には、金融商品の勧誘は行いません。なお、事前にお客様のご了解をいただいている場合を除きます。
- ④ わたしたちは、お客様に金融商品に関する十分かつ的確な情報を提供するため、当該金融商品に関する商品特性、事務処理要領などの習得、研さんにも努めます。
- ⑤ わたしたちは、お客様の知識、経験、財産状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らし配慮すべき事項を踏まえ、適切な商品の勧誘を行います。
- ⑥ わたしたちは、金融商品販売法、金融商品取引法及び関係法令等を遵守し、適切な勧誘が行われるよう、内部体制の強化に努めます。

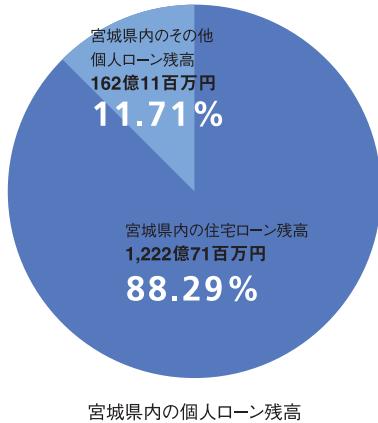
当行では、お客様からの苦情、ご要望に対する相談を承っておりますので、ご遠慮なく営業店窓口までお申しつけ下さい。

個人の皆さま

県内の住宅ローン残高

当行の宮城県内の個人ローン残高1,384億83百万円のうち、住宅ローン残高は1,222億71百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の88.29%を占めております。

■宮城県内の個人ローン残高の内訳 (平成21年3月末現在)



宮城県内の個人ローン残高
1,384億83百万円

住宅ローンプラザ

住宅ローンについて、ゆっくりご相談いただくために、本店に住宅ローンプラザを設置しております。平日はもちろんのこと、日曜日には「ローン日曜相談会」を開催しており、専門のスタッフがローン等のご相談に応じております。

また、毎月第3日曜日には、支店でも「ローン日曜相談会」を開催しております。(開催店等については、下記フリーダイヤルまたはホームページでご確認ください。)

	平 日	日曜相談会
営業時間	9:00～19:00	10:00～17:00
休業日	土曜日・祝日・振替休日・年末年始	年末年始
場所	本店ビル 5階	
お問合わせ先	フリーダイヤル 0120-3000-39	

住宅ローンへの取り組み

◎ ずっと金利優遇プラン

「2年固定・3年固定・5年固定」の固定金利選択型住宅ローン<自動更新型>を新規でご利用される方を対象に、全期間にわたり、基準金利より金利を優遇する「ずっと金利優遇プラン」を取り扱っております。

◎ 借換住宅ローン5年固定特別金利プラン

平成21年4月から、他の金融機関から住宅ローンの借換をご希望されるお客様を対象に、「借換住宅ローン5年固定特別金利プラン」を取り扱っております。(平成21年12月30日までに正式に申込みをされ、平成22年3月31日までに融資実行が可能な方が対象になります。)

◎ご来店不要型仮審査

住宅ローンのご利用を考えていても、銀行の窓口へ来店する時間がとれないお客様のニーズにお応えするため、「ご来店不要型仮審査」の受付を行っております。

なお、当行ホームページでは、キャンペーン情報のほか、住宅ローンシミュレーションなど、住宅ローンに関する情報を掲載しております。

住宅ローンシミュレーションは、毎月の返済額等を試算する「返済額シミュレーション」と、借換後の返済額を試算する「借換シミュレーション」の2種類を掲載しておりますので、住宅ローンの新規申込みや借換をお考えの際は、是非ご利用ください。



■住宅ローン「ご来店不要型仮審査」の流れ

お電話でご依頼ください
フリーダイヤル**0120-3000-39**

▼
仮審査申込書を郵送(ご自宅)

▼
仮審査申込書に記入・ご捺印いただき、
必要書類を添えてご返送

▼
仮審査

▼
審査結果を電話にてご連絡

▼
窓口で正式なお申込み



新スーパーフリーローン

平成20年8月から、「新スーパーフリーローン」を取り扱っております。お使いみちが原則自由なため、好評をいただいております。電話やファックスのほか、インターネットでも仮審査申込みができます。

カードローンS

平成21年2月に新しく誕生した「カードローンS」は、個人のお客さま向けの小口カードローンです。限度額の範囲内であれば、何回でも繰り返しお借りいただけます。



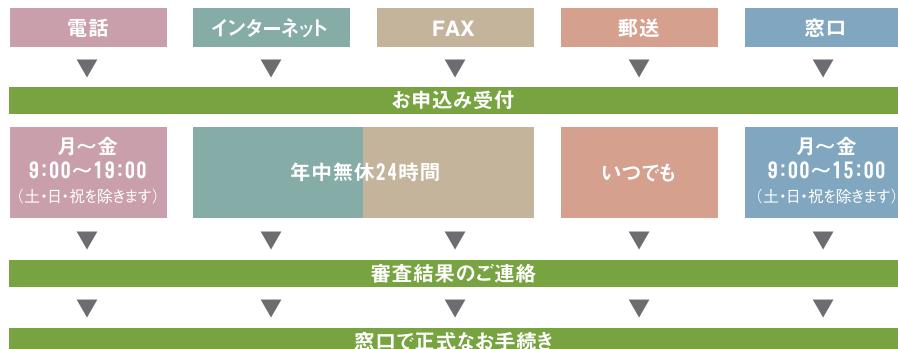
すてき300

当行で年金(※)をお受け取りのお客さまを対象に、スーパー定期預金(期間1年)の金利に0.2%上乗せする年金受給者向け優遇定期預金「すてき300」を取り扱っております。

お客様のニーズにお応えするため、平成21年2月から、預入限度額が100万円から300万円になりました。

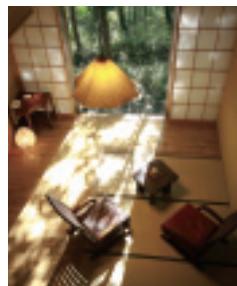
※国民年金、厚生年金、共済年金をお受け取りになっている方が対象になります。その他の年金をお受け取りの場合は、窓口にお問い合わせください。

■新スーパーフリーローンのお申し込みの流れ



夏の感謝祭

平成21年6月1日から「夏の感謝祭」を実施しております。日頃から当行をご愛顧いただいているお客様へ感謝をこめて、抽選で遠刈田温泉「温泉山荘 だいこんの花」1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたします。(平成21年7月31日まで)



遠刈田温泉「温泉山荘 だいこんの花」

中小企業の皆さん



事業承継セミナー

事業承継セミナー

お取引企業の皆さまの経営支援機能強化のため、平成20年8月に中小企業基盤整備機構東北支部と業務提携いたしました。

提携企画の第一弾として、平成20年9月に「事業承継セミナー」を開催し、事業承継に取り組むにあたって必要な税制の知識等について、専門家よりご講演いただきました。

仙台銀行ビジネスクラブ

「仙台銀行ビジネスクラブ（略称SBC）」は、お取引先の事業者の方を会員として構成して



経営者セミナー

おり、平成21年3月末現在の会員数は654社となっております。

平成21年6月には、小宮一慶氏を招いて、SBC主催による「経営者セミナー」を開催しました。このセミナーでは、あらゆる経営の基本の「徹底」の実践や、「経営」のノウハウから人間力まで幅広く講演していただきました。

ABL保証融資

当行は、不動産担保に過度に依存しない手法を活用した融資により、地域の中小企業の皆さまの多様化する資金調達ニーズに積極的に対応しております。

平成20年8月には、宮城県信用保証協会のABL保証を活用した当行初の取り組みとして、碎石・碎砂製造業者に対して運転資金の融資を実施いたしました。

ABL保証（流動資産担保融資保証制度）とは、平成19年に創設された信用保証制度で、

中小企業の皆さまの棚卸資産及び売掛債権を担保とした融資に対して、信用保証協会が保証することで、資金調達の円滑化・多様化を図るもので

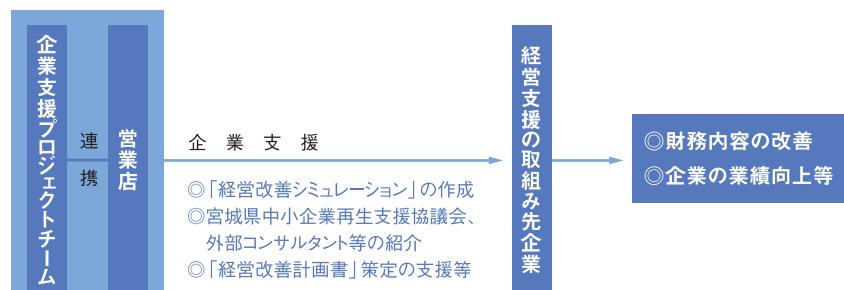
インターネット ビジネスバンキングサービス

法人・事業主さま向けの「インターネットビジネスバンキングサービス」では、各種取引照会、振込・振替のほか、「Pay-easy」による税金等、各種料金のお支払いを取り扱っております。

経営改善支援

本部内に「企業支援プロジェクトチーム」を設置し、営業店とともに、お取引先の皆さまの経営環境や経営活動の分析、「経営改善シミュレーション」等による改善アドバイスを積極的に行っております。

■経営改善支援の流れ



仙台銀行を希望する皆さん（人事・採用関係）

当行は、「お客様にご満足いただくためには、職員一人ひとりがやりがいを持って働くこと」が重要であると考えております。職員一人ひとりの特性や能力を生かすために当行は、さまざまな人事制度・採用制度を導入しております。

新卒採用

自分の力を地域へ役立てたいというチャレンジ精神旺盛な学生の皆さんを募集しております。

また、内定した学生の皆さんを対象に、営業店訪問等を実施し、銀行の仕事をいち早く肌で感じ、自分の将来像や目標を明確にしてもらうなど、入行までの準備を全面的にサポートしております。



中途採用

多様化する銀行業務に対応するため、銀行・保険・証券会社等の金融機関経験者や、豊富な専門知識・経験を持つ人材を募集しております。

社内FA制度

職員の意欲向上と能力開発を目的として、平成20年10月より「社内FA（Free Agent フリーエージェント）制度」を導入しております。

この制度は、業績達成や勤続年数など一定の資格要件を有する職員に対して、職務及び勤務地の希望を申請する機会を与え、人事異動に職員の希望を今まで以上に反映させていく制度です。

パートナー社員制度

非正規社員の戦力化を図るために「パートナー社員制度」を導入しております。

パートナー社員は、短時間パートナーとフルタイムパートナーに分かれています。フルタイムパートナーは、勤務時間が正社員と同一であり、必要資格の取得等により、正社員への登用も可能となっております。

また、結婚・出産・育児・介護等を理由として過去10年以内に退職した当行元行員をフルタイムパートナーとして再雇用しております。

インターンシップ

学生の皆さんに金融知識を学び、銀行業務を体験してもらうために、インターンシップを実施しております。

インターンシップでは、普通預金口座の開設や取引先訪問、預金窓口でお客様の応対を体験するなど、銀行業務だけでなく社会人としてのマナーも体験してもらうカリキュラムとなっております。

詳しくは、当行ホームページ
「採用情報」をご覧ください。

トピックス (平成20年4月～平成21年7月)

Topics

平成20年 4月	◎古川支店 グランドオープンイベントを開催 (平成20年4月19日)	
6月	◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成20年6月2日～8月31日) ◎投資信託3商品を追加 (平成20年6月16日)	
8月	◎「新スーパークリーローン」を販売開始 (平成20年8月25日)	
10月	◎「社内FA制度」を導入 (平成20年10月1日) ◎「住宅ローン10年固定特別金利プラン」を販売 (平成20年10月1日～平成21年3月31日)	
11月	◎佐沼支店 新築・移転オープン (平成20年11月4日) ◎秋季講演会を開催 (平成20年11月13日)	
12月	◎「仙台銀行 冬の感謝祭」を実施 (平成20年12月1日～平成21年1月31日) ◎「特別金利定期預金」を販売 (平成20年12月1日～平成21年1月31日)	
平成21年 1月	◎新春経済講演会を開催 (平成21年1月9日)	
2月	◎「カードローンS」を販売開始 (平成21年2月20日)	
3月	◎投資信託1商品を期間限定で販売 (平成21年3月2日～3月26日)	
4月	◎一時払終身保険2商品を追加 (平成21年4月1日) ◎「みやぎネット」サービスを開始 (平成21年4月13日) ◎「借換住宅ローン5年固定特別金利プラン」を販売 (平成21年4月22日～12月30日)	
6月	◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成21年6月1日～7月31日) ◎「特別金利定期預金」を販売 (平成21年6月1日～7月31日) ◎あつたかプラザ名取が丘(名取が丘出張所)オープン (平成21年6月8日)	
7月	◎あつたかプラザ高清水(高清水出張所)オープン (平成21年7月6日)	

講演会

当行では、毎年1月と11月に本店9階講堂において講演会を開催しております。



国際政治学者 浅井信雄氏

平成20年11月に開催した秋季講演会では、東京農業大学教授の小泉武夫氏を講師に迎えて、「仙台・宮城の『食』の魅力再発見」をテーマにご講演いただきました。

平成21年1月に開催した新春経済講演会では、国際政治学者の浅井信雄氏を講師に迎えて、「米国新政権の登場と政界情勢」をテーマにご講演いただきました。

みやぎネット

平成21年4月から、宮城県内の提携7金融機関(※)のATMにおいて、ATM相互利用サービス「みやぎネット」を実施しております。平日8:45～18:00までカードによるお引出し手数料が無料でご利用いただけます。

※仙台銀行・七十七銀行・杜の都信用金庫・宮城第一信用金庫・石巻信用金庫・仙南信用金庫・気仙沼信用金庫



みやぎネット

仙台銀行のCSR

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取り組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来17年間での助成累計は、63件、総額785万円となっております。



鳴子温泉川渡地域づくり委員会(大崎市)



将監支店



本店

職場見学

小学生や中学生を対象に、「銀行の仕事」をより理解してもらうことを目的に、本店及び支店において職場見学を行っております。

職場見学では、銀行業務の説明やお札の数え方体験、銀行窓口の見学等を行っております。

なお、見学風景はホームページ「仙台銀行をみてみよう!」に掲載しております。

みやぎっこ子育て家庭応援事業



「みやぎっこ子育て家庭応援事業」とは、宮城県と市町村が協賛店等と連携・協力しながら、子育て家庭を地域全体で支援するため、平成20年6月から実施している事業です。

当行では、県内全営業店において、「みやぎっこ応援カード」を提示したお客様に景品をプレゼントしております。

また、妊娠中のお客様やお子さま連れのお客様等が安心・安全にご来店いただけるように、県内5店舗(亘理支店・古川支店・岩出山支店・岩ヶ崎支店・佐沼支店)において、おむつ交換コーナーや多目的トイレを設置しております。

無料法律相談室

当行顧問弁護士による無料法律相談を本店2階相談室にて毎月開催しております。(予約制)

地域行事への参加

当店のある仙台市では、1月の「どんど祭」、5月の「仙台青葉まつり」、8月の「七夕まつり」と四季折々に行事が開催されます。当行は地域の一員として、積極的にこれらの行事に参加しております。

また、各支店の所在地で行われる行事にも積極的に参加し、地域の皆さんと一緒に地元の活性化に協力しております。



仙台青葉まつり「すずめ踊り」

仙台銀行のあゆみ

戦後の経済混乱も治まりつつあった昭和26年、宮城県下の商工業界の資金難から金融の円滑化が強く呼ばれていた中で、各地商工会議所等商工団体の要望に応え、当時の宮城県知事佐々木家寿治氏が金融機関設立を提唱し、宮城県が資本金の4割を出資し昭和26年5月25日振興無尽株式会社が誕生いたしました。

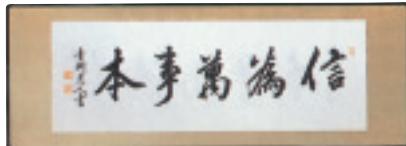
行は「信を万事の本と為す」に立脚し、公正明朗かつ堅実な業務運営により設立の使命である国民貯蓄の増強と中小企業金融の円滑化に寄与することを経営理念に掲げ、昭和26年7月5日に創業いたしました。



本店社屋(昭和29年～44年)



本店(昭和44年竣工)

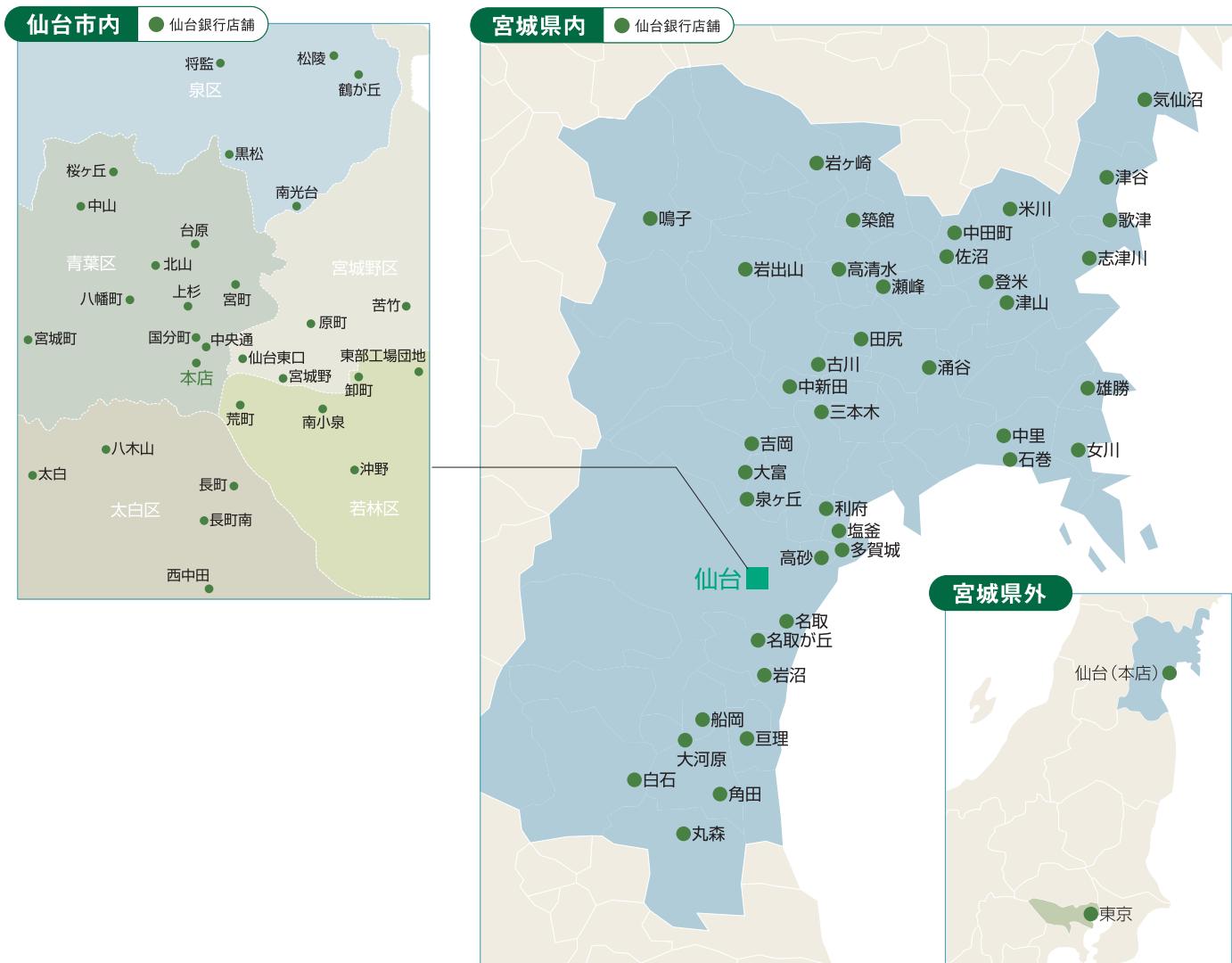


行は「信為萬事本」(しんをばんじのもととなす)
我が國銀行の創始者であり、經濟道德合一主義の
提唱者である渋沢栄一氏の揮毫

昭和26年	1951年5月	振興無尽(株)設立	平成10年	4月 ATM祝日稼働開始
	7月	業務取扱開始		11月 徳陽シティ銀行営業譲受け完了(譲受け店舗19ヶ店、うち既存店舗2ヶ店統合) 預金高7,000億円達成
昭和27年	1952年5月	相互銀行法の施行により(株)振興相互銀行と商号変更	平成11年	1999年2月 普通銀行転換10周年
昭和36年	1961年7月	創業10周年	平成12年	2000年4月 仙銀カード(株)設立(同年6月営業開始) 5月 新オンラインシステム稼働開始
昭和44年	1969年5月	新本店落成開店(現本店)	平成13年	2001年7月 創業50周年
昭和46年	1971年7月	創業20周年	平成14年	2002年1月 ATM365日稼働開始 3月 東北第二地方銀行5行によるATM提携サービス開始(東北おむすび隊)
昭和49年	1974年3月	資金量1,000億円達成		4月 中期経営計画「ステップ・アップ・プラン」開始
昭和56年	1981年7月	創業30周年	平成15年	8月 四半期情報開示の開始 10月 生命保険の窓口販売開始
昭和58年	1983年4月	公共債の窓口販売開始	平成16年	2003年2月 大東銀行仙台支店営業譲受け
昭和59年	1984年9月	外国為替公認銀行として業務開始	平成17年	2004年2月 住宅ローンプラザ開設 4月 中期経営計画「ステップ・アップ・プランII」開始
昭和61年	1986年3月	資金量3,000億円達成	平成18年	2005年4月 「好品質計画」開始 5月 (株)セブン銀行とのATM提携開始
平成元年	1989年2月	普通銀行へ転換し(株)仙台銀行に商号変更		11月 岩手銀行とのATM相互開放開始(グリーンネット)
平成2年	1990年5月	第三次オンライン(勘定系)開始	平成19年	2007年6月 本店ビル耐震工事完了
	7月	仙銀ビジネス(株)設立	平成20年	2008年4月 中期経営計画「新・好品質計画」開始
平成3年	1991年7月	創業40周年	平成21年	2009年4月 県内7金融機関のATM相互開放開始(みやぎネット)
平成4年	1992年4月	公益信託「仙台銀行まちづくり基金」設立認可		
平成6年	1994年3月	預金高5,000億円達成		
	7月	振込機能付ATMによる為替振込サービス取扱開始		
平成7年	1995年7月	カードによるATM預入サービス開始		
平成8年	1996年3月	メールオーダーサービス開始		
平成10年	1998年3月	徳陽シティ銀行からの営業譲受けに関する契約を締結		

店舗ネットワーク

当行は、営業店71カ店のうち70カ店、ならびに228台のATM（CDを含む、店舗内ATM131台・店舗外ATM97台）を宮城県全域に配置し、お客さまの利便性の向上に取り組んでおります。（平成21年6月末現在）



業績のハイライト（個別）

The highlight of achievements

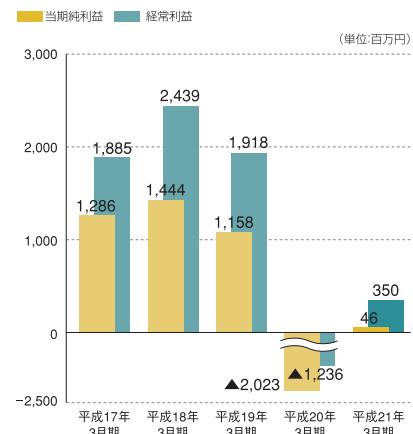
経常収益

経常収益は、金利引下げなどにより有価証券利息配当金や貸出金利息が減少したことや、投資信託の販売が低迷したことなどから、183億30百万円（前年同期比8.8%減）となりました。



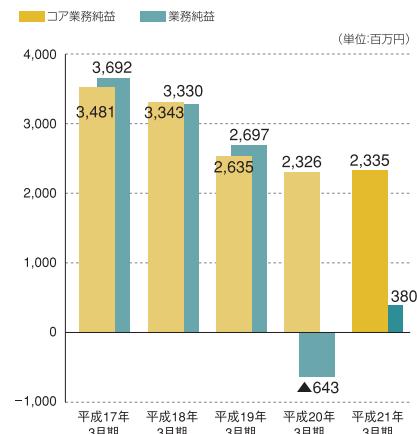
経常利益・当期純利益

経常利益は、金融危機に伴う世界的な金融市場の混乱の影響を受けて、保有有価証券の一部について23億円の減損処理を実施したものの、貸倒償却引当費用が減少したことなどから、3億50百万円（前年同期比128.3%増）となりました。当期純利益も46百万円（前年同期比102.3%増）となりました。



コア業務純益・業務純益

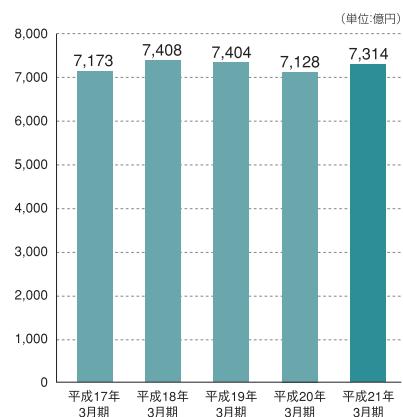
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、業務粗利益が減少したものの、経費全般の削減に取り組んだことから、前年と同水準の23億35百万円（前年同期比0.3%増）となりました。



*コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額及び債券売買等の損益を控除した金額をいいます。

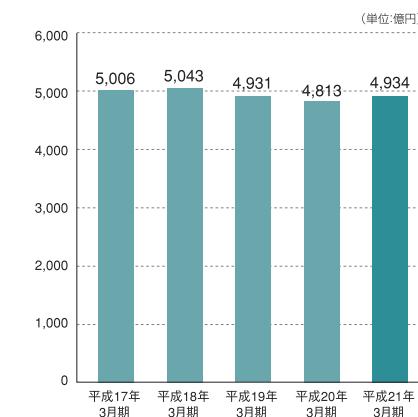
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金をはじめ、公金預金などが増加したことなどから、7,314億73百万円（前年同月比2.6%増）となりました。



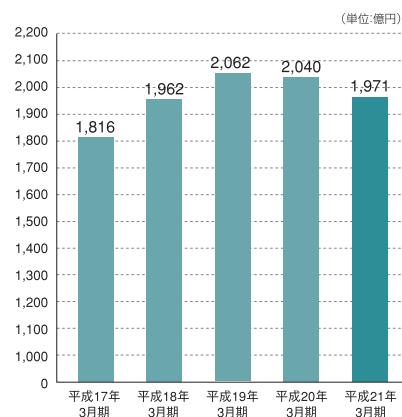
貸出金残高

貸出金残高は、住宅ローン残高が減少したものの、営業力の強化により、中小企業向け貸出が増加したことや、地方公共団体向け貸出が堅調に推移したことなどから、4,934億96百万円（前年同月比2.5%増）となりました。



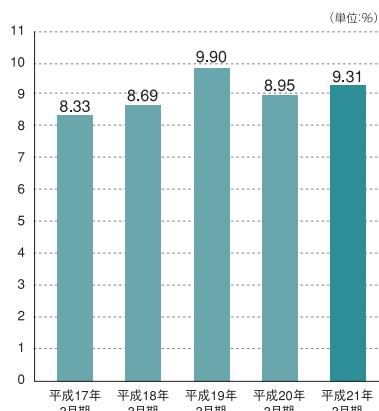
有価証券残高

有価証券残高は、1,971億78百万円（前年同月比3.3%減）となりました。



単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、前年同月比0.36ポイント上昇の9.31%となりました。



格付

当行では、第三者による評価をとおして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しております。

格付機関

株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類

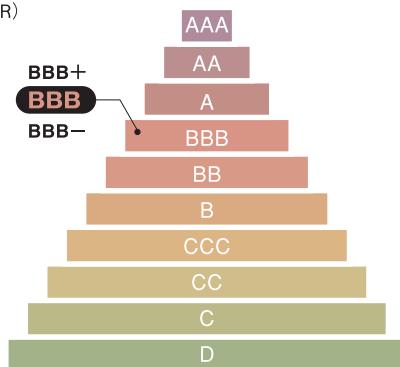
長期優先債務格付

格付

BBB(トリプルBフラット)

見通し

安定的



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返等)のうち、正常債権以外の債権額は230億29百万円(前年同月比56億8百万円減)となりました。

■金融再生法に基づく開示債権額(平成21年3月末現在)



■金融再生法開示債権の保全内訳

(平成21年3月末現在、単位:百万円)

	債権額(A)	保全額(B)	担保・保証等	貸倒引当金	保全率(B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,561	8,561	6,246	2,314	100.00%
危険債権	12,103	11,254	10,454	800	92.99%
要管理債権	2,364	1,057	608	449	44.73%
正常債権	475,509	265,123	264,039	1,084	55.76%
合計	498,539	285,997	281,349	4,648	57.37%

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

■不良債権比率の推移

■ 金融再生法開示債権残高
■ 不良債権比率



好品質計画 ♪



仙台銀行の概要（平成 21 年 3 月末現在）

創業 昭和 26 年 7 月 5 日
資本金 74 億 85 百万円
本店 仙台市青葉区一番町二丁目 1 番 1 号
店舗数 71 カ店（宮城県内 70 カ店、東京 1 カ店）
行員数 821 人（男子 579 人、女子 242 人）
預金・譲渡性預金 7,314 億円
貸出金 4,934 億円

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目 1 番 1 号
TEL.022-225-8241(代)
平成 21 年 7 月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>

